

第 16 回献血推進運動中央連絡協議会における協議事項について

1. 平成 25 年度に行われた事業等の実績評価

都道府県名	事業等の名称	事業内容	本事業の効果・効果の要因・26 年度に向けた改善点 (献血者数、参加者数等の数値で表せる場合は記載する)
鳥取県	若年献血者確保対策事業	献血者の底辺拡大を図るため、若年層（高校生等）に対しキャンペーンや研修会を開催し、献血への理解と協力を求める。	高校献血セミナー実施 3 校（計 4 回） 高等学校献血協力状況 7 校 7 回、受付人数 233 名、献血者 174 名 (200ml 63 名、400ml 111 名)
島根県	献血セミナー	血液センター及び保健所職員が受入希望のあった高等学校・大学等へ出向き、献血に関する講座（献血に関する DVD 上映、スライドによる献血基礎学習・AED を用いた救急法）を実施	① <u>事業効果</u> ・・・延べ 750 人参加 中学生 7 人、高校生 665 人、大学、 専門学校生 78 人 ② <u>効果要因</u> ・・・年度当初の公立・私立校長 会議で献血セミナーの受入を依頼 ③ <u>改善点</u> ・・・青少年赤十字（JRC）への働 きかけを行う
岡山県	・「岡山県愛の血液 助け合い運動」 ・「はたちの献血」 キャンペーン ・高校生に対する献	・シンフォニービルにおけるオープニング行事、表町商店街でのパレード実施。 ・血液センター 1 日所長（公募）の実施 ・「熱血・献血宣言」の配布	・TV、ラジオ等によるマスコミ報道により県民への周知が図れた。 ・啓発用クリアファイル 5,000 枚の配布 ・マスコミ報道により県民への周知が図れた。 ・県下高校 2 年生全員 19,157 人に配布し啓発

岡山県	<p>血パンフレット等の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数回献血クラブの組織強化 ・献血セミナー（赤十字出前講座） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「400mL 献血にご協力を！」の配布 ・献血会場において新規会員を募集する。 ・県下各高校へ出向き、命の大切さや献血知識の普及に努める。 	<p>が図れた。高校生献血者が対前年比で 162.4 %と増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県下高校卒業生全員に配布し啓発が図れた。 ・平成 25 年度新規会員 2,725 名（前年度 2,574 名） ・のべ 35 校 11,625 名が受講 献血セミナーの内容に「一次救命処置」を取り入れた。 ・高校献血実施校が 11 校 570 名。（前年度 10 校、574 名）
山口県	高校生献血推進ボランティア育成事業	<p>献血のことを知ってもらい参加してもらうために、高校生ボランティア有志が文化祭や地域イベント等の場で献血に関する啓発活動・献血を行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① <u>事業効果</u>・・・H24 年度は啓発活動 21 校、高校献血 10 校、310 人となった。H25 年度は啓発活動 16 校、高校献血 20 校、718 人となった。 ② <u>効果要因</u>・・・高校献血の増加に伴い 10 代の献血者数は増加した ③ <u>改善点</u>・・・学校行事の都合が多く、事前の調整が必要
徳島県	マチアソビ献血キャンペーン	アニメイベントで献血啓発キャンペーンを実施	<ol style="list-style-type: none"> ① <u>事業効果</u>・・・キャンペーン期間中の若年層献血者数 5 / 3～5 : 516 人（うち 294 人） 10 / 12～14 : 438 人（うち 241 人） ② <u>効果要因</u>・・・若年層が集まるアニメイベントで献血啓発キャンペーンを実施したこと

徳島県			③ <u>改善点</u> ・・・開催者の費用的負担が大きかったため、それを軽減するべく予算措置をする必要がある。
	ヴォルタくん 一日献血ルーム所長	Ｊリーグ徳島ヴォルティスのマスコットキャラクターに一日所長を委嘱し、親子世代向けに献血啓発を実施	① <u>事業効果</u> ・・・ヴォルティスサポーターを中心に親子世代に向けて啓発。当日の献血ルームでの採血者数は77人。 ② <u>効果要因</u> ・・・徳島ヴォルティスの人気キャラクターにスポットを当てたこと及び献血記念品として選手のサイン入りグッズを配付したこと。 ③ <u>改善点</u> ・・・当該マスコットキャラクターの人気の高いため、今後も継続して実施できるように手段を講じる必要がある。
	スポーツイベント (徳島ヴォルティス対ガンバ大阪戦)における献血キャンペーン	Ｊリーグの試合会場での献血啓発及び採血車の配車	① <u>事業効果</u> ・・・当日の入場者約9,000人に対し啓発。タウン誌に掲載することによりさらに周知。 当日の採血者数48名。 ② <u>効果要因</u> ・・・徳島ヴォルティスの協力により、ホームページでのイベント告知、場内アナウンスでの周知。コラボレーション啓発資材を配布。 ③ <u>改善点</u> ・・・啓発資材の数量が少なかつたため、増量する必要がある。
香川県	高校生街頭 献血キャンペーン	高校生献血ボランティアに献血に関する学習をしてもらった後、店内で献血への協力呼びかけを実施	① <u>事業効果</u> ・・・のべ16校71名が参加 ② <u>効果要因</u> ・・・献血に対する理解を高め、将来の献血につなげる。 ③ <u>改善点</u> ・・・学習と呼びかけの両方がしやすい実施場所の確保

<p>愛媛県</p>	<p>高校生に対する 献血推進事業</p>	<p>・県下全高等学校の2年生男子生徒（約7,400人）に、知事メッセージ「～17歳を迎えた男子高校生諸君 献血へ行こう～」を配布した。 ・高校生に対する学習・参加型普及啓発として、「愛顔（えがお）の高校生献血推進会議」を開催した。 ・血液センターが各高等学校に向き、献血出張教室を実施した。</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・ 高校生を対象とした各種献血普及啓発事業を継続して実施した結果、高校の学内献血の実績が向上した。 （H23年度：27校、546人） （H24年度：42校、655人） （H25年度：39校、680人）</p> <p>② <u>効果要因</u>・・・ 高校2年生男子生徒全員に献血への協力を呼びかけるパンフレットを配布したこと、また「愛顔の高校生献血推進会議」や献血出張教室の場で献血の意義を広く啓発したことで、学校及び高校生の献血に対する意識が向上したものと考えられる。</p> <p>③ <u>改善点</u>・・・ 高校生会議における意見（「県が作成するパンフレットは内容が分かりにくい」）を受けて、H26年度作成予定のパンフレットは内容をリニューアルする予定。 また、献血ルームの移転に合わせて、新規献血者の呼び込みにつなげる。</p>
<p>高知県</p>	<p>こうち献血 冬季キャンペーン</p>	<p>例年実施している3つの冬季キャンペーンを実施するとともに、冬季期間中の統一キャンペーンとして（1）けんけつラブバトン（2）けんけつラブイベントを</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・キッズ献血参加者：280名、ラブバトンカード回収数：348</p>

高知県		<p>実施した。</p> <p>(1) けんけつラブバトン</p> <p>① 期間中に県内で献血をした場合に、スタンプカードにスタンプを押す。※献血場所はバス、ルーム等どこでも対象とする。</p> <p>② 家族や友達とカードを交換したりして献血のバトンを繋ぎ、スタンプを3つためる。</p> <p>③ 3つスタンプが押されたカードを記念品3つと交換する。</p> <p>(2) けんけつラブイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キッズ献血 ・献血者の声の展示（献血者からのメッセージが書かれたハート型を飾ったモニュメント（木の形）の展示） ・輸血を受けた方の母親からの感謝の声の展示 	<p>② <u>効果要因</u>・・・ラブの木にメッセージを書くことで献血の大切さを実感する機会となり、さらにラブの木を他の人にもみてもらうことで啓発効果の広がりがあった。</p> <p>③ <u>改善点</u>・・・ラブバトンは献血者から他の献血者及び普段は献血をしない人への呼びかけを狙って実施したが、結局は一人でスタンプをためる人がほとんどであり、バトンとなることが少なかった。今回はバトンの取組みについて、献血者からの紹介に頼ったため本来の効果が得られなかったと考えられる。次回はより広報をすることと、献血者自身にスタンプカードの存在を忘れられないような工夫が必要である。</p>
広島県	若年層に対する献血推進事業	<p>・県下全高等学校の3年生に、知事メッセージ「～広島県の未来を担う10代・20代の皆さんへ～」、クリアファイル及び啓発パンフレット「ありがとう献血」を配布した。</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・卒業前の高校3年生全員（約24,000人）に配布し、啓発を図ることができた。</p>

広島県	<p>・血液センターが各中学校・高等学校に出向き、献血について出張講義を実施した。</p>	<p>① <u>事業効果</u>・・・ セミナー参加者 (H25: 23校, 2,815名) (H24: 30校, 5,351名)</p> <p>② <u>改善点</u>・・・ 参加校が固定されつつあるため、新規の参加校を増やすため、教育委員会等とも連携して、再度、参加依頼を出す等の取組を行う。</p>
	<p>・なるほど献血教室の開催 小学生の親子を対象に、夏休み期間中に血液センター見学会を開催し、献血について知ってもらう機会を設けた。</p>	<p>① <u>事業効果</u> 参加者：児童 312名 保護者 213名（計525名） 参加した保護者が、帰りに献血をする等、若年層のみならず、献血者の増に直接つながる効果もあった。</p>
	<p>・献血に関する高等学校関係者向け講習会の実施 高校校長会において、献血の重要性と意義についての講演を実施</p>	<p>① <u>事業効果</u> 献血の現状・若年層への取組の意義について、県内高校長の理解が得られた。</p>

2 6年度献血推進計画に盛り込まれている事業の取組予定

①学生献血推進ボランティア等（同世代からの働きかけ）の広報活動

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学内にサークルがあるので、街頭献血の際には呼びかけ協力をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学のサークル
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・学生献血推進サークルによる学内献血の主催と学生ボランティアセミナーの開催 ・学生ボランティア統一キャンペーン（街頭・血液センター） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティア
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県学生献血推進連盟“S. B. D. M o m o”の主催する献血キャンペーンの後援、県民及び各関係機関への周知 ・「はたちの献血」キャンペーンにおける同世代の著名人、もしくは同世代学生の血液センター1日所長への起用 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県学生献血推進連盟“S. B. D. M o m o”の活動を記した広報誌等を官公庁及び各関係機関に設置しその存在を広く周知する。 ・センター、ルーム、移動採血現場に出向き、献血者へのお礼等の声かけ ・NHK等テレビ局へ訪問を行い、キャンペーンの周知依頼をする
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年赤十字、インターアクトクラブ、生徒会などが主体となってイベント等を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター、学生献血推進ボランティア
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・同世代からメッセージを募集し活用する。 メッセージの内容は、①献血した経験、②輸血された経験、③学生献血推進ボランティアとしての活動経験④貧血予防レシピなど ・量販店及び街頭でのキャンペーン時に大学生や高校生の学生ボランティアによる献血への呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター、マスコミ（新聞、ラジオ）、タウン誌、徳島インディゴソックス（野球独立リーグ）の選手、大学の栄養学科・学生赤十字奉仕団及び青少年赤十字（JRC）のメンバー

香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生街頭献血キャンペーン（複数の高校の混成） ・ 献血サポーター事業（学校単位） 大学生や高校生の献血ボランティアを募り、献血の学習会や街頭での呼びかけ、学校単位での献血サポーター事業等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血ボランティア団体 ・ 高等学校（保健所を通じて依頼） ・ ショッピングセンター等
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「愛顔の高校生献血推進会議」の開催 参加した高校生に、家族や周囲の友人等に献血協力を呼びかけてもらう。 また、学生赤十字奉仕団（大学生）に会議の運営について協力を求め、高校生と大学生と一緒に献血について考える機会を設ける。 ・ 大学におけるボランティアサークル等に対する活動支援 毎月1回、大街道献血ルームにおいて学生赤十字奉仕団の委員会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会 ・ 県内高等学校 ・ 県赤十字血液センター ・ 学生赤十字奉仕団
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血啓発イベント・デザインコンテスト（“若い世代から同年代に献血をアピール”してもらうことをコンセプトに、冬季献血キャンペーン※の一連の企画及びデザインを若年者層から募集）の優勝者（優勝グループ）が、現に活躍しているデザイナーからアドバイスを受け、実際に企画を実現する。 <期待される啓発効果> ○コンテスト参加者への効果 ・ 参加者は友人たちを巻き込んで献血について学び、考えることが期待できる。 ○イベントの実施による効果 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター ・ 高等学校、専門学校

高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテストを経て若手クリエイターが企画したイベントは、同年代にとって受け入れやすい。 ・若い世代の取組みでありマスコミへのアピール力も高い。 <p>⇒イベント及び報道によって若年者層を含めた献血者の増が期待できる。</p>	
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学におけるボランティアサークル等に対する活動支援 ・学生ボランティアによる献血呼びかけ（中国四国統一学生キャンペーン・全国学生クリスマスキャンペーン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会 ・県内高等学校 ・県赤十字血液センター ・学生赤十字奉仕団

②国民への献血実施の日時や場所等についての十分な広報活動

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うにあたっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞への掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、無料で掲載いただいているので、新聞社の協力が必須
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページへ掲載 ・地元新聞に毎日掲載 ・市町村広報誌に掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター ・山陰中央新報社 ・市町村
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・NHKをはじめとする県内報道機関各社に協力を求め、県民へ広く周知（岡山県内及び香川県一部） ・保健福祉部医薬安全課ホームページでの周知 ・岡山県赤十字血液センターホームページでの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内27社のテレビ・ラジオ・新聞等マスコミに対する県民への周知の依頼。 ・県、血液センター発行の印刷物へのURL掲載。

山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報誌に掲載 ・ ホームページによるお知らせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、マスコミ
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 採血車の配車場所は、地元新聞とFMラジオが毎日県下の情報を伝えている。また、一部の市町村広報誌にも掲載。 ・ 県庁の広報媒体のメールマガジンを活用 ・ 血液センターのホームページに掲載されており、県庁のホームページからもリンクしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元新聞、地元ラジオ ・ 一部市町村 ・ 血液センター
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国新聞生活情報誌「オアシス」における記事の掲載 ・ 血液センターHPにおいて広報 ・ ラジオ放送（NHK、民法FM）において広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国新聞社、NHKに広報委託及び協力依頼
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センターホームページによる情報提供 ・ 市町の広報誌への掲載 ・ マスコミによる広報（地元新聞紙面への掲載） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県赤十字血液センター ・ 各市町 ・ 地元新聞社
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙への掲載 ・ ホームページへの掲載 ・ 管内放送の活用 ・ SNS の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター ・ 市町村
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センターホームページによる情報提供 ・ 市町の広報誌への掲載 ・ 各種啓発資材への記入 ・ 県ホームページの充実 ・ メディア出演時における広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県赤十字血液センター ・ 各市町 ・ 地元新聞社、テレビ局

③平成23年4月1日に施行された採血基準改正についての広報

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校での献血セミナー等の機会を捉えて、採血基準の改正を周知する。 ・ 若年層向けリーフレットに掲載し、配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページへ掲載 ・ リーフレットを作成し事業所・関係団体へ配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビCM放送を通して、県民各層への周知を図る。 ・ ホームページでの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内6社のテレビ局に対する県民への周知の依頼。 ・ 県、血液センターホームページでの周知。
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙に掲載 ・ テレビ、ラジオ放送での無料スポット放送 ・ ホームページに掲載 ・ 県内高校へ通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、山口県教育庁、マスコミ
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生の学内献血の再開を依頼するため、県、保健所、血液センター職員が合同で高等学校を訪問し、校長、養護教諭等に基準改正の趣旨を説明した。 ・ リーフレット、ホームページ活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、保健所、高校、教育委員会
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県広報誌、県広報ラジオ番組等を用いた広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県広報部局
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校2、3年生を対象とした啓発資材(パンフレット)の配布 ・ 従来高校2年生男子生徒向けの知事メッセージ及び一般向け献血パンフレットをリニューアルする。 ・ 県ホームページによる広報 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会 ・ 県内高等学校 ・ 県赤十字血液センター

高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページに掲載するとともにさまざまな印刷物の中に盛り込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター ・ 市町村
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生を対象とした啓発資材（パンフレット、知事メッセージ等）の作成・配布 ・ 県ホームページによる広報 ・ メディア（地元テレビ等）への出演時のお知らせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会 ・ 県内高等学校 ・ 県赤十字血液センター ・ 地元新聞社、テレビ局

④ 「献血セミナー」や血液センター等での体験学習への取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 献血おもしろセミナーの開催（対象：小学生及び保護者） ・ 中学校職場体験学習の受入れ ・ 高校での献血セミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公立・私立校長会議において献血セミナーの受入依頼、受入希望のあった高校で献血セミナーを実施 ・ 夏休み小学生親子血液センター見学体験教室の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター ・ 保健所 ・ 県教育委員会 ・ 各市町村教育委員会
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内高等学校において「献血セミナー（赤十字出前講座）」の実施。（目標 30 校/年） ・ 子どもを対象にした模擬献血「キッズ献血」の実施。（のべ 4 日間実施予定。平成 25 年度は 4 日で 873 人の子どもが参加） ・ 夏休み親子見学会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岡山県教育委員会の協賛 ・ 県内高等学校のアンケートへの協力 ・ 岡山県学生献血推進連盟 “S. B. D. M o m o” ・ イオンモール倉敷 ・ 県内小学校による生徒へのチラシ配布

山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生親子赤十字一日体験教室 ・献血出前講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口市教育委員会、山口県教育庁
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センターにて、小学生を対象とした「夏休み親子血液ゼミナール」を継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町村教育委員会の後援承認を得て実施する
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み小学生親子血液センター見学教室 ・高校生献血セミナー ・大学生等献血セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会・各学校に対し文書により協力依頼を行い、校長会等の機会を利用して、献血セミナーへの参加の協力を求める。
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生親子血液センター見学体験教室の実施 ・中学校及び高等学校等を対象とした献血出張教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会 ・県内中学校及び高等学校 ・県赤十字血液センター
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血セミナー（出前講座）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生親子血液センター見学体験教室（なるほど献血教室）の実施 ・中学校及び高等学校等を対象とした献血出張教室（献血セミナー）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・県教育委員会 ・県内中学校及び高等学校 ・県赤十字血液センター

⑤大学等における献血の推進及び将来の医療従事者を目指す者に対する普及啓発の取組

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法等)
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・新任研修医研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取大学医学部

島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学医学部での献血体験実施 ・大学生、高専生等を対象とした献血セミナーの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター ・学生ボランティア
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山大学医学部のオープンキャンパスに参加し献血に関するブースを出す（平成 25 年度約 1, 212 人の参加有） 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山大学医学部の協力を得て、入学希望者を対象にセミナーを行う
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県学生献血セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県学生献血推進協議会
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・学生献血ボランティアが各種キャンペーン等を企画できる体制を作る ・学園祭への移動採血車の配車。大学及び看護学校献血時にパンフレット、ポケットティッシュ等の配布、啓発用パネルの掲示、推進 DVD を放映 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センターが学生献血ボランティアに対して定期的に研修会を実施し、連携を強化する。 ・大学、看護学校の学生奉仕団、献血ボランティア
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生ボランティアに献血キャンペーンを自主企画してもらったり、県の広報番組に出演してもらう。 ・医療従事者を目指す学科等において献血セミナーを行う。 ・臨床研修プログラムで後期研修医を血液センターで受け入れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学・学生ボランティア団体に協力依頼
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学におけるボランティアサークル等に対する活動支援 ・大学及び専門学校等への移動採血車の配車回数の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学及び専門学校 ・保健所 ・県赤十字血液センター
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学及び専門学校における献血の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター ・大学及び専門学校

広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学におけるボランティアサークル等との連携 ・大学及び専門学校等への移動採血車の配車回数の増加 ・医療従事者をめざす学生を対象に献血セミナーを開催 ・初期研修医を血液センターで受け入れて研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学及び専門学校 ・保健所 ・県赤十字血液センター
-----	--	--

3. 「献血推進2014」にある目標を達成するための重点的な取組み

① 献血の意義を理解していただく取組み（受血者の顔が見えるような広報など）

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層向けリーフレットに、献血経験者や受血経験者から、初めて献血をされる方へのメッセージを掲載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・献血者・受血された方の家族
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血推進団体（ライオンズクラブ）へ輸血を受けた患者さんのDVDを配布し、啓発活動に役立てている ・献血会場周辺事業所等周知用チラシに輸血を受けた患者家族の手記を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター ・ライオンズクラブ
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・「献血セミナー（赤十字出前講座）」を大学生・専門学校等にも拡大し展開 ・愛育委員（地域のボランティア団体）による血液センター見学会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の各学生支援課等に協力を求め、サークルへ参加を要請する ・各地域愛育委員会の血液センターへの見学会および定例会における協力依頼。

山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年赤十字、インターアクトクラブ、生徒会など主体となり所属する高校の文化祭等で献血に関する啓発活動 ・ 複数の高校で学校献血を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、山口県学生献血推進協議会、山口県教育庁
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ メッセージ募集事業において、受血者からのメッセージをチラシやタウン誌に掲載、あるいはラジオで放送して広報に活用 ・ はたちの献血キャンペーン、愛の血液助け合い運動を積極的に活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、マスコミ（新聞、ラジオ）、タウン誌、 ・ 教育委員会、血液センター ・ 徳島インディゴソックス、徳島ヴォルティス
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベントの開催 ・ 高校生を中心にした若年層に対する啓発事業の推進（血液製剤使用患者の声を伝えるDVDの活用） ・ 血液センターHPに献血者の顔写真付きでコメントを掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街や大型ショッピングモールへ協力依頼 ・ 教育委員会・各学校への協力依頼
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校2、3年生向けパンフレットに、受血者からのメッセージを入れる。 ・ 小学生親子血液センター見学体験教室、中学校及び高等学校等における献血出張教室、愛顔の高校生献血推進会議等の実施を通して、若年層に対して献血の意義について理解を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会 ・ 県内高等学校及び中学校 ・ 県赤十字血液センター ・ 学生赤十字奉仕団
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸血を受けた方のお母さんからの感謝の声の広報 ・ 県内の患者さんからの声を寄せてもらうための取り組み及び活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター ・ 合同輸血療法委員会
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校3年生向けパンフレットに、受血者からのメッセージを入れる。 ・ 「なるほど献血教室」、 「献血セミナー」等におい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会 ・ 県内高等学校及び中学校 ・ 県赤十字血液センター

広島県	<p>て、若年層に対して献血の意義について理解を求める活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受血者の遺族である「まひろちゃんのお父さん」の活動を通じ、献血の重要性をアピールしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生赤十字奉仕団 ・ 体験者
-----	---	---

② 10代の方々に献血の意義を理解していただき、初めての献血を安心して行っていただくような環境整備

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校での「献血セミナー」等で十分に理解していただいた上で、採血にあたっては、職員がやさしく声掛けするなど安心感のある環境づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生を対象とした血液センター、保健所職員による献血セミナーの実施 ・ 中学生職場体験の受入（受付、接遇等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター ・ 保健所 ・ 県教育委員会 ・ 各市町村教育委員会
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生が理解しやすい、献血パンフレット「熱血・献血宣言」を作成し、献血実施が可能となる高校2年生に配布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内高等学校全2年生に配布し献血へ啓発を図る。
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校献血の実施 ・ 中高校生を対象とした「SEISHUN!献血」読本の配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター、日本赤十字社血山口県支部
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島県の若年層対象イベントを活用して献血車を配車、若年層の献血体験を促すため、若年層に人気のキャラクターの入った記念品を制作し、記念品として配布。記念品には啓発内容も掲載。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光担当課、アニメ制作会社、マスコミ（新聞情報誌）と連携し、記念品贈呈だけでなく、採血基準をホームページで易しく解説し、若年層に献血の啓発を実施。

香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生啓発事業 (街頭献血キャンペーン、サポーター事業、献血セミナー) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商店街や大型ショッピングモールへ協力依頼 ・ 教育委員会・各学校への協力依頼
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校及び高等学校等へ献血事業を説明する「出張教室」の実施 ・ 献血に関する高等学校関係者向け講習会の実施 献血の重要性と意義について、高校生の理解を深めるために実施する。 ・ 大街道献血ルームの移転、リニューアル 献血ルームの移転により、献血者にとって快適な空間づくりの拡充を図る。また移転時の広報を積極的に行い、新規献血者の呼び込みにつなげる。 ・ 初回献血者に対する接遇 採血の手順や採血後に十分な休息をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、リーフレット等を活用して、初回献血者の不安の払拭に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会 ・ 県内高等学校及び中学校 ・ 県赤十字血液センター ・ 学生赤十字奉仕団
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液セミナー（出前講座）の実施 ・ 中学生の血液センターでの職場体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血液センター ・ 教育委員会
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校及び高等学校等へ献血事業を説明する「献血セミナー」の実施 ・ 献血に関する高等学校関係者向け講習会の実施 平成25年度に高校校長会で実施した献血の重要性と意義についての講演等を継続して実施する。 ・ 献血ルームの新設、改装 広島の象徴である平和公園の近隣に献血ルーム「ピ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会 ・ 県内高等学校及び中学校 ・ 県赤十字血液センター ・ 学生赤十字奉仕団

広島県	ース」を新設，現行の「もみじ」とともに待ち時間を短縮するとともに，献血のイメージを一新する雰囲気づくりを図る。	
-----	---	--

③ 20代の方々にリピータードナーとなっていただくような取組み

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
鳥取県	・大学を中心とした複数回献血クラブへの加入推進を行う。	・大学のサークル
島根県	・複数回メールクラブへの入会促進 ・しまねっこ携帯ストラップを若年層の献血者に配布	・血液センター
岡山県	・学内献血実施時に、重点的に複数回献血クラブ「ももたろうEメールクラブ」への勧誘を行う。 ・学生に固定施設へ定期的に来ていただくようなイベントの実施	・岡山大学他県下大学 ・岡山県学生献血推進連盟“S.B.D.Momo” ・各イベントの講師
山口県	・リーフレットの配布 ・複数回献血クラブ	・血液センター
徳島県	・タウン誌やリーフレットに複数回献血クラブ加入のQRコードを掲載し、携帯電話により登録できるシステム ・「クリスマスキャンペーン」、「はたちの献血キャンペーン」「バレンタインキャンペーン」実施	・タウン誌と連携して掲載。登録して献血すると記念品 ・血液センターと連携して複数回献血者へのメール ・献血ボランティアの協力
香川県	・専門学校等における献血セミナー ・複数回献血クラブ入会の促進 ・血液センター職員の献血者への接遇のさらなる向上	・専門学校等への協力依頼 ・献血時に複数回献血クラブ入会を声掛け

愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・複数回献血の推進 複数回献血者を構成員とする「複数回献血クラブ」（リピートあいピー）の周知を徹底し、複数回献血の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県赤十字血液センター
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・大学、専門学校において年2回以上の献血依頼 ・年1回献血者にハガキでの複数回献血依頼 ・献血メールクラブ登録への勧誘 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・複数回献血の推進 複数回献血者を構成員とする「複数回献血クラブ」（eハート）の周知を徹底し、複数回献血の推進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 県赤十字血液センター

④ 献血者が心の充足感をより得られ、安心快適に献血を行っていただけるような環境整備

都道府県名	予定事業の概要 (事業の取組みに当たって、重点を置く事柄を含む。)	本事業を行うに当たっての連携・協力先 (連携・協力を必要とする団体等やその連携・協力を得るための方法。)
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・採血所のイメージアップ（献血者の方に趣味の写真や作成品を募集し、待合室や採血所内に展示することで明るい雰囲気確保する。） 	<ul style="list-style-type: none"> ・献血者の方から定期的に写真等の提供。
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・検診車の活用（H25年度導入） ・定期購読雑誌の見直し、コミックスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター
岡山県	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年10月にオープンした献血ルームの広報グループでも、個人でも快適に過ごせる休憩スペースとお子様を楽しめるキッズコーナーの活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域タウン誌等各種広報媒体。 イベント等の告知とともに献血ルームの快適性を周知する。
山口県	<ul style="list-style-type: none"> ・検診車の増車 	<ul style="list-style-type: none"> ・血液センター

徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・不安を与えないような接遇、採血中に話しかけて不安をとりのぞく。 ・環境整備としては、23年4月に献血ルームを全面リニューアルしている。 	・血液センター
香川県	<ul style="list-style-type: none"> ・地中海をイメージした色調で快適な献血ルーム「オリーブ」の広報 ・献血ルームで献血後のマッサージ ・血液センター職員の献血者への接遇のさらなる向上 ・冬季、献血バスでの採血の際、献血者の腕を温めるソフトウォーマーの使用 	・各種広報媒体に快適な献血ルームの広報を依頼
愛媛県	<ul style="list-style-type: none"> ・大街道献血ルームの移転、リニューアル 献血者にとって快適な空間づくりの拡充を図る。 	・県赤十字血液センター
高知県	<ul style="list-style-type: none"> ・初回献血者への丁寧な説明 ・環境整備（献血ルームの休憩スペースの充実等） 	・血液センター
広島県	<ul style="list-style-type: none"> ・献血ルームの新設（25年度末）、リニューアル 献血者にとって快適な環境づくりの拡充を図る。 新設による待ち時間の短縮等 	県赤十字血液センター

4. 27年度の献血推進計画への記載を要望する事項

都道府県名	27年度献血推進計画への記載を要望する事項。 (特段に希望する事項があれば記載してください。)	記載を要望する理由
9県	なし	